

タウンミーティング（丹原地区） 開催報告

- 日 時 令和元年8月8日（木） 午後7時から
○場 所 丹原公民館 1階大会議室

- 参加者 丹原地区連合自治会長、上町・下町・今井・久妙寺・願連寺・田野上方区東・北田野区東自治会長、丹原地区老人クラブ丹原支部長、丹原地区婦人会長、丹原小学校PTA会長、丹原地区青少年健全育成協議会会長

市長、経営戦略部長、丹原総合支所長、政策企画課長、シティプロモーション推進課長、丹原総合支所総務課長、広聴係長

- 傍聴者 24人

- 次第
- 1 開会
 - 2 挨拶（丹原地区連合会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 市の主要事業について《市提案》
 - (1) 主要業務の説明（市長）
 - 5 参加者紹介
 - 6 地域課題「旧丹原町市街地周辺整備」について《地域提案》
 - (1) 地域からの提案説明（丹原地区連合自治会長）
 - (2) 意見交換
 - ・都市計画道路下町線の整備
 - ・地域交流センターの設置
 - ・福祉センター、ふるさと歴史館等の整備
 - 7 その他
 - 8 まとめ・閉会
 - (1) まとめ（市長）
 - (2) 挨拶（丹原地区連合自治会長）

○会議録

1 挨拶

【丹原地区連合自治会長】

皆さん、こんばんは。忙しい中、丹原地区タウンミーティングに出席していただき感謝申し上げます。タウンミーティングは、地域団体の代表者と市の意見交換の場である。代表者から市に向けての疑問点などを言っていただき、意見交換を活発にしてもらいたい。

いろいろな意見が出ると思うが、聞く耳をもっていただき、欲を言えばいい返事が返ってくることを願っている。

市長は就任当時、新しい西条を作るため、市民主役の西条の実現や、旧行政区域にとらわれない市民の融和などといった市政の運営方針を打ち出している。その思いを貫いていただき、頑張っていたいただきたい。

【市長】

皆さん、こんばんは。暑い日が続いており、お疲れのところ集まっていただき感謝申し上げます。良い返事をとられるが、西条市の現状は、平成16年に合併して以降、時代の変化とともに、「あれもこれも」から「あれかこれか」になっている。小負担高福祉から中負担中福祉にしていかなければ皆さんの子ども、孫にバトンタッチをできない。優先順位をつけて出来ること出来ないことをしっかり説明していく。選択をしながら、よりよいまちにするために市民協働のまちづくりをしていきたい。市民主役の西条でなければいけない。

また、市民融和を図りたい。選挙の時、丹原で「お前は西条の人間か」と言われた。丹原と西条では文化の違うところもあるがそういったことも含めて市民融和につなげていきたい。市民の皆

さんからのアイデアを頂き、よりよい西条にしていきたい。

2 市の主要事業について

(1) 主要業務の説明

【市長】(参照別紙資料(1))

3 地域課題「旧丹原町市街地周辺整備」について

(1) 地域からの提案説明

【丹原地区連合自治会長】

西条市も合併して15年になる。市長の打ち出した市政運営方針に沿って融和は、多少調整されてきていると感じる。

しかし、丹原地区においては、市の中心部から離れていることもあり、衰退していくのではないかと不安な声を聞く。旧丹原地区を元気な町にするつもりで、旧丹原町を一、二か所程度整備すると、地元の人も頑張ってみるかという意欲が沸く。

よって、第一番として都市計画マスタープランに計画している都市計画道路の下町線の整備をお願いしたい。

現在、丹原中央公園の拡張整備が進んでいるが、そこに市外からお客さん呼び込むためには、産業道路を経由してきた方が一番分かりやすいので、下町線を市道北条新田高松線に接続していただきたい。そして公民館、支所を中心とした周辺道路の整備をお願いしたい。

二番目は地域交流センターの設置をお願いしたい。多くの人が使える施設というのが丹原地区にはない。丹原小学校の体育館は使うが、小学校の行事等があり、施設が使えず不便を感じている。そのため一堂に会せる施設の設置をお願いしたい。

三番目は、福祉センターを取壊し、その跡地を公民館、支所の駐車場、あるいはイベント会場として利用できないか。福祉センターは、かなり年数がたっており、雨漏りをした形跡もある。修繕をしても完全には直らず、まして耐震も出来てない。

西条のふるさと歴史館を統合して一つにまとめて、「西条市ふるさと歴史館」ということで、丹原地区のふるさと歴史館を整備していただきたい。その跡地が何かに利用できるのではないかと考えている。

【市長】

まず、丹原中央公園は、多くの市民の皆さんに愛してもらえる施設になって欲しい。そのため、他の地域から呼び込む施設ではなく、都市公園として位置づけたいと考えている。

去年、七夕まつりが歴史をとじ、今年、周桑商工会の青年部が中心となり、丹原小学校で夜市をした。私もアイデアを出した一人だが、例えば、久妙寺の丹原運動公園でそういった夜市が開けないか、あるいは今度出来る丹原の中央公園で、夜市等が出来ないかと話をした。七夕夏まつりが途切れることはいけないと判断し、丹原小学校の校長先生にもご理解をいただきながら、あのような形で続けることができた。将来的にも、この丹原中央公園や丹原運動公園は、丹原の皆さんに愛してもらえ施設ということで、おいておきたい。

道路の関係は都市計画の中に入れていますが、その計画をとりやめるのは少し難しい。今、圃場整備をしているが、そういったところの兼ね合いもあり、下町線を伸ばすのも難しく、現時点では未定である。

ふるさと歴史館については、現有施設をいかに有効活用していくか。

丹原福祉センターは、耐震化がまだ未対応で、耐震化をするよりも、丹原保健センターに機能を動かさないかと考えている。また、国の方針で小学校の空き教室を活用するよう示されているので、現在、丹原福祉センターの中にある放課後児童クラブを、丹原小学校の中に動かそうとしている。これについては皆さんと相談しながらやっていこうと思う。

丹原総合庁舎三階に丹原図書館が入ったが、庁舎に空きスペースができれば、社会福祉協議会を庁舎に入れることも考えており、集約化をしていきたい。

丹原総合支所の駐車場は、停めるところが無いとよく言われる。丹原総合支所周辺の西条市とJAの所有する土地をねじ替えることも含め整理が出来たら、双方に有益ではないか。

今年、東予の市民プールを無料で開放させていただいた。流水プールのポンプが非常に弱っていたり、スライダーのボルトが抜けていたりするため、改修に費用がかかる。11万人の市で二つの市民プールが必要なのか。あるに越したことはないが、ランニングコストがかかってくる。例えば、東予市民プールを閉め、そのあとに温水プールという形で市民の皆さんの健康を保持で

きるようなプールが出来ないか考えている。

体育館だが、旧二市二町で同じ頃に体育館を建てている。小松の体育館は耐震がされてなく、丹原体育館は耐震化されており、維持していくためにはどうすべきか問題である。

縮こまってもいけない部分もある。しかし、空きスペースがあれば、そこを使うことが出来ないか検討し、丹原総合支所の周辺整備にあてていきたい。

【参加者】

J A周桑の駐車場と旧土木事務所を交換したらどうか。J Aは職員駐車場が近くなり、公民館も駐車場が広くとれる。

本来はその駐車場に施設の整備をお願いし、多くの人を寄せたい。実際J Aの駐車場、旧土木事務所の横の道辺りは信号機が近く出入りが難しい。ある程度整備すれば、信号機の入りがやりやすくなる。

欲を言えば、公民館に出入りする農道が、職員駐車場の横に通っているので、そこから公民館に出入りができるようにお願いしたい。

施設については、資金の問題もある。できれば何らかの形で県や国のお金を使って道を拡張して欲しい。しかし、狭い場所なので、敷地の問題もある。

いずれにしても職員駐車場と旧土木事務所の土地だけでもひとつ実現させていただきたい。

【市長】

公共施設のこれからのあり方を検討していきたい。

進入路について、駐車場を集約化し、進入路が一方だけだと渋滞するので、進入路確保の必要性はある。しかし、費用がかかるので、土地の交換が出来るのであればしていきたい。

支所周辺は、本当に丹原の心臓部である。どのようにしていけば有効活用できるか、あるいは駐車場スペースが確保できるか。そして、多くの人が集まりたい場合、隣にJ A周桑があるので可能であれば使わせていただきたい。

丹原保健センターのあり方も含め新耐震基準になっている施設へ機能を移しながら、皆さんに意見を聞き、まとめていきたい。

【参加者】

市長が説明していたグラフだが、毎日市役所の職員は、人口が減るマイナスのグラフを見せられて減ることしか考えていない。この表を見ていたら本当に減ってしまうと思う。増やすグラフというのを市で作ってもらいたいと感じた。市役所の職員は、毎日増やすグラフを見て、この町をどうしていくかを考えて、日々仕事をしていただきたい。当然私たちも、減るグラフよりも増やすグラフを見ながら皆さんと、話ができればよいと感じた。

色々な地域から移住してくる方たちと接する中で違った文化の交流が発生していく。例えば、今日私は、髪の毛を結んでいるが、こういう風貌を見て「何なん、それは。」と言われる。周りが、この髪型を変わっていると感じていると自分も受け止めているが、変わっていることを受け入れる地域作りが、人間作りであると考えている。人権教育をどの公民館でも取り組んでいるが、そういったことを、学校を中心に子どもから三世代で勉強していく。そういう人間を作っていく、移住してきた方をどんどん受け入れて、一緒に発展していけたらいい。

小学校と公民館は丹原地区の中でも中心にあるが、小学校で三世代での事業ができないか。お金をかけずに出来ることを考えられると思う。

また、出て行きたくても出て行けない方、それは、機会がないから出て行くことが出来ないと思っている。声を掛けられたら出るという人は沢山いると思うので、大人も高齢者も丹原小学校という拠点で交流が出来ればと考えている。公民館も同じように、拠点としてとらえて三世代で勉強する場というのを作っていったらと思う。

【市長】

今後公民館は、地域の核にしていき、機能を強くしていく。地域の課題を解決するために人を張り付けることができないか、財源を地域に任せることができないかといったこと検討していくので、みんなで協働のまちづくりをして欲しい。3世代交流も課題となっているのであればやっていただきたい。

世話役が重なっていると思う。1つ受けたら、いくつもの世話役を頼まれる。また、老人クラブもいつまでもやらないといけない。自治会長もだが、高齢化、固定化している。この役割が続くとしんどくなっていくので、もう少し楽しくやっていけないかを考えて欲しい。

ずっとそのままだと何も変わらないので、ノートライ、ノーチェンジということをライオンズクラブも言っているが、とにかくチャレンジして欲しい。

今、移住促進に力を入れているが、違った文化で、すでにコミュニティができようとしている。移住者だけのコミュニティもできようとしている。例えば、無農薬野菜を作りたいということで、西条を選んで入ってきた人が、カフェをしているところへ野菜を納めて、調理して皆さんに食べてもらうというようなサイクルもできている。そういった循環も生まれつつあるので、そういったものをどんどん育てていきたい。また、そういったことを認めることも大切だと思うので、個性という形でいろんなことにチャレンジしていきたい。

【参加者】

丹原小学校の保護者、先生方から課題や意見を読ませていただく。

- ・郵便局前に歩行者用の信号機を設置して欲しい。
- ・ヤマサンセンター丹原跡地裏側の川沿いにガードレールを設置して欲しい。
- ・街灯が少なく、子供の歩く歩行帯のある道路が少ない。
- ・商店街近辺は見通しが悪いところが多いので、カーブミラーの設置を行ってほしい。
- ・ヤマサンセンター丹原がなくなり、夜はその周辺が暗くなっているので、ジョギングや車を運転する際に暗いので街灯が欲しい。
- ・ヤマサンセンター跡地交差点は子供が毎日通学路として利用しているので、ガードレールを設置してほしい。

PTAでは、こういった意見があった。

【市長】

昨年の大阪北部地震で小学4年生の子が倒れてきたブロック塀の下敷きになり尊い命を失ってしまったということがあったので、まずブロック塀を点検し、ブロック塀が健全であるか全部チェックをして、直せるものは直している。

学校は安全でないといけなく、安心して親御さんから任せられる施設でなければいけない。通学路として本当に危ないところはないかなどという話も確認をしながら場合によっては、ガードレールやパイプが必要となれば、道路管理者と相談し、県道であれば県と相談していく。市道の場合は、警察がやっている標識等もあるので、必要であれば要望していく。我々が管理している部分については改善の必要があれば直していき、子供たちの通学路は安全を守っていきたい。もう一度、点検結果を確認させていただき、必要な部分は直していきたい。

【参加者】

毎年少しずつ婦人会員が減少している。

会員も高齢化し、行事を行っても足が悪く歩けないという方が多くいる。若い方も入っているが、仕事を休めないと断られ、行事にはあまり参加しない。そうすると、年寄りだけでしていかなければならないため、何のための婦人会なのかと矛盾を感じる。

今回、敬老会があるが、平日なので手伝う人数を確保するのが大変である。日曜日だったらと思うが、日曜日は子供の行事がある等で断られる。

また、各小部落で婦人会員がいないところが増えてきた。そうすると、婦人会員のいないところも今の会員で世話をしないといけなくなるので、各自治会で1人は必ず婦人会の会員をとってほしい。

【市長】

自治会も、自治会の会員が少なくなっている。あるいは高齢になり費用を払うのも大変で自治会をやめるケースが増え、人の確保が非常に難しくなっている。

老人クラブの会員が少ないので、吉本新喜劇を優先的に見ることができるプレミアムを付けたらどうかと老人会に提案したら「そんなことで増えたりするか。」と言われた。少し形を変えていかないと帰属意識が低下してしまう。

どうしたらこの地域を大切にしてくれるのかを考えなくてはならない時代になってきた。婦人会や自治会に何もかも甘えるわけにはいかない。例えば、健全育成と愛護班を一緒にはできないかといったことで、これからのあり方について次の世代にバトンタッチができるように校区の世話役を作っていないかなくてはならない。今一度、若い方も参加してもらい、どうしたらこの地域の皆さんの婦人会や自治会が担っている役割を広く薄くみんなでカバーできるかっていうことを考えたい。是非とも意見を戦わせながら、あり方を求めていきたい。

4 その他（地区における課題及び要望に対する回答）

【シティプロモーション推進課長】（参照別紙資料(2)）

5 まとめ・閉会

【市長】

長時間お付き合いいただき感謝申し上げます。皆さんが満足いく回答ができたと思っではない。ハードも大切だが、何より大切なのはソフトの部分だ。やはり、知恵と工夫が必要であり、この時代にあったまちづくりが今求められている。さりとて委縮してもいけないし、縮こまっても市の発展はないというところで、バランスを取りながら持続可能な西条市にしていくかを追い求めていきたい。

そういった中で話し合いからスタートすることがあると思う。このタウンミーティングも満足なものになったかわからないが、市役所も変化を加えながら、やり方に工夫ができないか、もっと市民の皆さんとひざを突き合わせて出来ないかについて、一回で終わりではなく、いろんな手段で広聴活動にも努めていきたい。これに懲りず、これからも皆さんからの声を寄せていただき、誠実にフィードバックしていく。

これからは協働のまちづくりということで、市役所が甘えているのではないかと受け止めている方もいると思うが、そうではなく我々も一生懸命熱を入れて、一緒になって皆さんとまちづくりをしていきたい。今日はお付き合いをいただき感謝申し上げます。

【丹原地区連合自治会長】

市長にはいろいろといいアイデアを出していただいた。駐車場の交換などが返事として返ってきたということは今日のタウンミーティングについては収穫である。

市長の話を知ると、丹原地区の団体、自治会が乗り遅れていると感じた。1歩でも2歩でも市長の考え方についていくことを参加者にもお願いしたい。今日は感謝申し上げます。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

